

問10 1日当たりのおおよその平均活動時間数 (N=817)

	全体		男女別		校種別	
	男	女	男	女	小学校	中学校
2時間	353	43.2%	86	40.6%	254	43.1%
1時間	176	21.5%	48	22.6%	136	23.1%
3時間	147	18.0%	27	12.7%	120	19.8%
1時間未満	88	10.8%	36	17.0%	52	8.6%
4時間	43	5.3%	11	5.2%	30	5.1%
5時間以上	10	1.2%	4	1.9%	6	1.0%
計	817		212		589	

問11 コーディネーターの活動体制(1校当たり) (N=813)

	全体		男女別		校種別	
	男	女	男	女	小学校	中学校
複数体制で役割(担当)分担	336	41.3%	86	40.6%	250	41.6%
複数体制で分担無し	242	29.8%	58	27.4%	184	30.6%
1人体制	206	25.3%	51	23.8%	145	24.1%
複数体制で活動日を分けるなど交代制	11	1.4%	1	0.5%	10	1.7%
その他	18	2.2%	6	2.8%	12	2.0%
計	813		212		601	

【その他の記述例】
 ・内容は分担、大部分は共同で活動。
 ・他のコーディネーターの活動との差がないので誰が具体的にどのような活動をしているかを知らない。

問12 支援している活動内容の頻度(平均) (N=818)

	①年間回数				②1月～3日		③週1～2日		④週3日以上		計
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計		
学習支援	267	185	452	74	48	122	49	35	84	575	
読み聞かせ・読書活動支援	204	144	348	48	35	83	26	14	40	431	
新活動(クラブ)指導	63	41	104	26	14	40	14	7	21	144	
校内環境整備(校庭維持管理、図書室整備等)	79	153	232	66	27	93	27	10	37	325	
子供の安全確保	68	136	204	62	20	82	20	7	27	286	
学校行事等の運営支援	11	17	28	4	2	6	7	2	9	39	
校内環境整備(校庭維持管理、図書室整備等)	55	52	107	23	7	30	7	5	12	137	
子供の安全確保	35	39	74	5	5	10	5	5	10	84	
学校行事等の運営支援	20	13	33	18	2	20	2	2	4	53	
校内環境整備(校庭維持管理、図書室整備等)	189	164	353	76	53	129	53	33	86	482	
子供の安全確保	137	134	271	54	33	87	33	20	53	358	
学校行事等の運営支援	52	30	82	22	20	42	20	12	32	124	
校内環境整備(校庭維持管理、図書室整備等)	197	61	258	36	62	98	62	35	97	356	
子供の安全確保	159	45	204	26	54	80	54	28	82	284	
学校行事等の運営支援	38	16	54	10	8	18	8	7	15	72	
校内環境整備(校庭維持管理、図書室整備等)	443	116	559	16	5	21	5	5	10	580	
子供の安全確保	332	86	418	13	3	16	3	3	6	436	
学校行事等の運営支援	111	30	141	3	0	3	0	0	0	144	
校内環境整備(校庭維持管理、図書室整備等)	166	98	264	35	22	57	22	21	43	321	
子供の安全確保	120	67	187	27	21	48	21	11	32	235	
学校行事等の運営支援	46	8	54	8	1	9	1	1	2	86	

【その他の記述例】
 ・面接練習、防災教育、不登校生徒支援
 ・配膳を要する児童・家庭への関係者への情報提供
 ・町会、地域との間わり、地域清掃、盆踊り、お祭り
 ・近隣小学校コーディネーターとの連携活動(地域清掃、漢字検定など)。
 ・職場訪問、職場体験
 ・ホームページ支援、学校運営更新、音楽教材CD編集
 ・ボランティアミーティング開催準備、運営

問12SG01 学習支援の具体的な内容 (N=557)
 ※複数回答(該当するものすべて)

	全体	小学校	中学校
授業支援を行うゲストティーチャー(原簿者や近隣住民個人等)の調整	413	327	86
授業における実験、実習、校外学習の補助をする地域人材の調整	289	248	41
授業支援を行うゲストティーチャー(近隣商店街・企業・大学等)の調整	237	182	55
授業支援を行うゲストティーチャー(自治体を超えて幅広く活動している企業等)の調整	168	137	31
授業の補助を行う教員のアンスタウト(A)の調整	149	120	29
課外(土日等)での学習支援(トリル等の採点補助を含む)をする地域人材の調整	133	79	54
課外(放課後)での学習支援(トリル等の採点補助を含む)をする地域人材の調整	130	84	46
近隣商店街・企業・大学等における職場体験等の調整	126	71	55

【その他の記述例】
 ・朝学習時の読み書きセンターディナー
 ・算数検定、漢字検定、夏季補充学習、日本語学習
 問13 コーディネーターの活動内容としてどのようなことが求められているか (N=810)
 ※複数回答(該当するものすべて)

	全体	小学校	中学校
地域人材等(ボランティア)の発掘・活動計画立案・日程調整等	665	494	171
学校・子供や地域のニーズ・状況把握	504	382	122
学校支援活動の広報・普及活動	476	348	128
学校支援に関する運営委員会等への出席	423	306	117
学校支援活動に関わる活動記録等作成	408	301	107
学校支援活動に必要な用品等の調達	369	273	96
地域人材等(ボランティア)向け説明会・研修の企画・実施	237	173	64
企業等と連携した授業支援プログラムの情報収集・企画・授業	142	119	23
その他	76	49	27

【その他の記述例】
 ・町会や子供会の会合に出席
 ・先生方は異動があるので、コーディネーターがこの学校の特色ある教育を支えてほしいと言われています。
 ・学校評議員会・学校関係者評価委員会への出席
 ・外部機関(医療、巡回相談)とのつなぎ役、担任へのアドバイス。

問14 地域人材等(ボランティア)募集や教育支援プログラムの情報収集を行っているか (N=818)

	全体	小学校	中学校
行っている	596 72.9%	432 73.2%	164 71.9%
行っていない	222 27.1%	158 26.8%	64 28.1%
計	818	590	228

【問14で①行っている」と回答した場合の情報収集方法】

問14SQ01 情報収集の方法 (N=596)
※複数回答(該当するものすべて)

	全体	小学校	中学校
個人的な人的ネットワークを通じて	495	361	134
PTAからの紹介	326	236	90
地域団体等からの紹介	311	241	70
地域人材等(ボランティア)からの紹介	285	212	73
学校の教職員からの紹介	195	153	42
学校のホームページ・広報紙での募集	140	96	44
東京都主催のコーディネーターと企業・NPOなどの交流機会の活用	129	91	38
区市町村担当課への相談や「人材バンク」等登録情報の活用	123	90	33
区市町村のホームページ・広報紙での募集	33	18	15
その他	44	33	11

【その他の記述例】

- ・副校長先生と大学へ訪問
- ・町会役員からの紹介
- ・地域企業へ問い合わせ
- ・自治体の保有する人材情報
- ・市内外でのイベントに参加、見学などをしに行く
- ・近隣校の学校コーディネーターとの交流会を活用
- ・企業などのホームページを探る

問15 学校支援の取組を通して効果・変化があったと感じていること (N=804)

※複数選択(3つまで)

	全体	小学校	中学校
教員が授業や生徒指導などにより力を注げるよう支援できたと感じている	389	289	100
子供たちの学力・体力や規範意識、コミュニケーション能力、授業態度の向上等につながったと感じている	384	280	104
コーディネーターや地域人材等(ボランティア)自身の楽しみ、生きがいづくりや自分の成長につながったと感じている	384	282	102
地域住民の生きがいづくりや自己実現につながったと感じている	233	184	49
地域の教育力が向上し、地域の活性化につながったと感じている	177	139	38
その他	63	44	19

【その他の記述例】

- ・地域と子供連のコミュニケーションができ、安全対策につながった。
- ・子供たちの図書室利用頻度が向上し、読書量が増えた。
- ・子供たちが楽しみながら参加し、進んで行動するようになった
- ・卒業生がボランティアに力を貸してくれた
- ・保護者を中心に学校を支援する事が子供の成長につながる意識に変わった
- ・保護者の教員に対する不満が減った。
- ・保護者が学校に来る機会が増え、学校とのつながりが近くなった

問16 あなたの担当する学校での学校支援の取組は円滑に進んでいると感じるか (N=818)

	全体	小学校	中学校
そう思う	304 37.2%	225 38.1%	79 34.6%
ややそう思う	362 44.3%	274 46.4%	88 38.6%
あまり思わない	80 9.8%	44 7.5%	36 15.8%
思わない	16 2.0%	10 1.7%	6 2.6%
どちらともいえない	56 6.8%	37 6.3%	19 8.3%
計	818	590	228

【問16で①そう思う、②ややそう思う」と回答した場合のその要因】

問16SQ01 円滑に進んでいると感じる要因 (N=659)

※複数選択(3つまで)

	全体	小学校	中学校
教職員の理解が得られているから	431	323	108
理解のある地域人材等が多数いるから	369	285	74
校長がリーダーシップを発揮しているから	283	204	79
学校・コーディネーター・地域などの間で取組の目的が共有できているから	191	143	48
PTAとの連携が良好だから	184	126	58
コーディネーター間のネットワークができてきているから	169	129	40
従来から地域人材等の支援の仕組みがあったから	124	111	13
行政のサポートが適切だから	26	17	9
その他	9	7	2

【その他の記述例】

- ・校長先生がよく話を聞いてくれ、前向きに受け入れて実行しようと動いてくれるから
- ・副校長が教員への呼びかけをまめにしてくれてボランティアとのつながりを作ってくれているから
- ・学校(教職員)とPTAと行政間、理解と良好な連携があって、円滑に進んでいる
- ・先生方のご意向を聞いてサポートする立場に徹しているから
- ・歴代のPTA役員OBのネットワークによる協力が体制があった

【問16で③あまり思わない、④思わない」と回答した場合のその要因】

問16SQ02 円滑に進んでいないと感じる要因 (N=88)

※複数選択(3つまで)

	全体	小学校	中学校
コーディネーターとして十分力を発揮できていないから	51	20	31
学校・コーディネーター・地域などの間で取組の目的が共有できていないから	42	23	19
地域人材等(ボランティア)としての協力者が少ないから	31	16	15
PTAや既存の支援の仕組みとのすれ違いがうまくできないから	26	16	10
学校の理解が得られないから	18	11	7
必要な経費の確保が難しいから	12	9	3
行政のサポートが不足しているから	7	5	2
地域の理解が得られないから	4	3	1
その他	14	11	3

【その他の記述例】

- ・先生方もあまりコーディネーターについての理解がないのでどうやって活用していいかわからない。
- ・学校側が、取り組みが發揮されていらない。
- ・校長のリーダーシップが積極的により、方針が変わったため。
- ・校長、教員、保護者の間でコーディネーターに頼む必要がない。